

医療・介護情報

新型インフルエンザ

今回は、これから流行が予想される新型インフルエンザについて Q&A 方式で特集します。

Q & A

Q 症状について教えてください。

A. 突然の高熱・咳・咽頭痛・倦怠感・鼻汁・鼻閉・頭痛等であり季節性インフルエンザと類似しています。ただし、季節性インフルエンザに比べて下痢などの消化器症状が多い可能性があります。

Q. 季節性インフルエンザよりも重症化しやすいですか？

A. ほとんどの方が軽症で回復しています。

持病がある方々のなかには、治療の経過や管理の状況によりインフルエンザに感染すると重症化するリスクが高い方がいます。特に次の持病のある方々は、感染しないように注意しましょう。また、周囲の方々も感染させないように配慮しましょう。

○慢性呼吸器疾患○慢性心疾患○糖尿病などの代謝性疾患○腎機能障害○ステロイド内服などによる免疫機能不全
さらに、妊娠 乳幼児 高齢者の方々についてもインフルエンザが重症することが報告されています。感染予防を心がけ、かかりつけの医師がいる方は発症時の対応についても相談しておきましょう。

Q. 予防するにはどうしたらいいですか？

A. 手洗い・うがいをしっかりとすることが大切です。

手洗いは、可能な限り頻回に石鹸を使って最低 15 秒以上行い、洗った後は清潔なタオル等で水を十分に拭き取りましょう。

また、ウイルスが粘膜を通して感染するため極力鼻や口などに触らないようにしましょう。

『咳エチケット』も感染予防の上では大切です。咳やくしゃみ等の症状のある人には必ずマスクを付けてもらいましょう

Q. 必ずマスクを着用する必要がありますか？

A. マスクは、咳やくしゃみによる飛沫及びそれらに含まれるウイルス等病原体の飛沫を防ぐ効果が高いとされています。咳やくしゃみ等の症状のある人は積極的にマスクをつけましょう。

Q. 治療法について教えてください。

A. 主な治療法は抗インフルエンザウイルス薬(タミフル・リレンザ)の投与です。これらの薬は、医師が必要と認める場合に処方されます。また、症状を緩和させる目的で解熱薬や去痰薬、鎮痰薬などが処方されます。妊婦や乳幼児に対する処方については、副作用のリスクを見極めながら医師が投与の判断をすることになっています。

厚生労働省 HP 抜粋

★日常生活ではまず、十分な睡眠・バランスの良い食事・適度な運動等で体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。

また、インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、室内を加湿器などを使って適度な湿度に保つことは有効な予防方法です。

本年度研究発表会から

今回は、感染委員会からの発表を取り上げます。

標準予防策・感染予防策について

感染委員会

<はじめに>

昨今、世界的な新型インフルエンザの発生や、従来の季節型インフルエンザによる高齢者等への影響を見ると、感染対策の主目的である「感染源を出来る限り遮断する事」「感染症が発症した場合に被害を最小限にする事」の重要性が改めて感じられます。今回の研修で基本に戻り、感染予防策について再学習したいと考えます。

<学習内容>

標準予防策 (スタンダード・プリコーション)

インフルエンザ・ノロウイルスの感染予防対策

<考察>

今回の学習内容はH19年11月に行ったものと同様です。繰り返し行う事で、感染予防への正しい知識の再確認とともに感染の拡大防止の為に技術も習得し実践出来るよう今後も継続して学習して行きたいと考えます。

北3F くるみショートケア レクリエーション風景

9月9日(水)に、おはぎを作りました。
あずき、きなこ、ごまの3種類です。どれも、とてもおいしくできました。



9月19日(土)には、高岡のかかし祭りに行ってきました。

お知らせ

新型インフルエンザの院内感染を予防するためにご面会やご利用に関して下記の対策を取らせていただきます。

ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

○次の方は面会をお控えください

・発熱や鼻汁、咽頭痛、咳などの症状のある方

○面会される方へ

・上記の様な風邪症状のある方は、マスク装着をお願いします。

・備え付けの消毒液で、手指消毒をお願いします。

○通所リハビリテーション・くるみショートケアご利用の方へ

・発熱や鼻汁、咽頭痛、咳などの症状のある方については、ご利用をお控え下さいませようお願い致します。



♪編集後記♪

シルバーウィークは、いかがが過ぎされましたか？私は、立山の方へドライブに行ってきました。道端のコスモスと少し冷たくなった風に秋を感じました。暑さ、寒さも彼岸まで、衣替えは、お早めに☆

基本理念

患者様の生命と人権を尊重した医療と介護に努めます。
信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。
地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。

職員は常に自己研鑽に励み、医療・介護の質の向上に努力します。 平成18年4月1日改定

運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます。